



第3番  
札所

# 而

ふるせことを はるばるのくに きみいでら はなのみやこも ちかくなるらん

紀三井寺は、今から千二百四十年近く昔(宝龜七〇年)、唐僧・為光上人によって開基されました。為光上人は、仏教の志篤く、身の危険もいとわず、波荒き東シナ海を渡って唐(今の中国)より到来されました。そして諸国を巡り、上人がたまたまこの名草山の麓に三宿した折、山の頂上付近が白く光っているのを不思議に思つて上がつて来られると、金色に輝く千手観音様と出会われました。この地が、ご仏縁深き霊場と悟られた上人は、自ら刀三礼のもとに十二面観音様の尊像を彫られて、これを草庵に安置し、この紀三井寺を開創されました。

正式な寺名は「紀三井山金剛宝寺護国院」ですが、山内から湧き出す三つの霊泉(清浄水・楊柳水・吉祥水)から「紀三井寺」という名前が親しまれてきました。

ご本尊の十二面観音様は、厄除・開運・良縁成就予授け・商売繁盛など諸々の心願を叶えて下さる霊験あらたかな観音様として、また西国三十三所観音巡礼第一番の札所として、参詣者の香煙絶えません。

## 年中行事

初詣	正月3ヶ日	家内・交通安全、厄除等 終日大祈禱会厳修
初観音	1月18日	午後1時より大般若經転読と 無病息災のお加持があります
初節分	2月3日	午後4時より福つき大豆まき 終日大祈禱会厳修
初午	旧暦初午の日	午後4時より福つき大投餅 終日大祈禱会厳修
春季彼岸会	3月18日より1週間	先祖・水子供養
桜祭り	3月20日~4月20日	4月1日曜には「紀文吉宗祭り」
文塚供養会	4月第1土曜日	旧迷子郵便供養会、迷子になった 郵便物や思い出の書簡の灰を供養
十三詣り	4月1日~13日	男女十三歳は大人の仲間入り、 知恵もらい音声もらい
春大会式	4月18日	観音様、春のご縁日。 午後1時より本堂にて法要
幸福観音会式	4月第3日曜予定	大陸殉難犠牲者追悼法会。 境内鐘楼北の幸福観音像前にて
水子供養会	5月18日~5月24日	この期間中の日曜日午後2時より 水子供養悲母観音像前で法要
七夕・祇園祭	7月7日	願いの笹納め、午後6時より福引き、 夜店、七夕子供のど自慢大会と世のお焚き上げ
千日詣	8月9日	この日一日のお詣りが千日の功德。 終日祈禱会厳修。夜、太鼓奉納や「福棒投げ」
灯籠供養会	8月15日	お盆の送り火、午後7時より境内に数千の 灯籠が並べられて供養後お焚き上げ。
秋季彼岸会	9月20日より1週間	先祖・水子供養
菊節句忌	旧暦重陽の日	この日、菊花を紀三井寺観音様に供えると 向こう1年間悪病を免れるとの伝えあり
開山忌	11月13日	紀三井寺を開かれた唐僧・為光上人 を偲んで午後1時より法要
七五三詣り	11月15日	11月中は予約をすればいつでも 智恵の水をお授けできます
しまい観音	12月18日	厄除開運大根炊き(紀三井寺観音講) 観音様年末最後のご縁日

※毎年、西国霊場巡拝を春秋2回(5月連休明け頃と11月上旬)  
四国霊場巡拝を夏(8月24日地藏盆の頃)に催行  
※西国・四国の巡礼用品もご用意しております。(詳しくは本堂納経所まで)

### 救世観音宗 紀三井寺

総本山 和歌山市紀三井寺1201

Tel.073-444-1002 Fax.073-444-3678  
<http://www.kimiidera.com>  
 メールアドレス [kimidera@kimiidera.com](mailto:kimidera@kimiidera.com)  
 交通アクセス

- 【電車で】  
 JR JR和歌山駅より紀勢本線(きのくに線)  
 南方向へ2駅(紀三井寺駅)下車 徒歩10分  
 南海 南海電鉄和歌山市駅より和歌山バス(海南  
 方面行)乗車、紀三井寺バス停下車 徒歩10分
- 【お車で】  
 北 和歌山ICを出、和歌山市内方向へ約4km  
 より 田中町交差点左折後、国体道路を約5km  
 南 海南湯浅道路・海南ICを出、国道42号線  
 より を和歌山市方面に北上

# 紀三井寺

西国観音霊場第二番札所 救世観音宗総本山



kimiidera





咲き誇る桜と  
重要文化財の宝庫  
紀三井寺

本堂 (県指定重要文化財)

江戸時代・宝暦9年(1759年)建立。  
入母屋造・正面唐破風と千鳥破風・本瓦葺き・九間四面・総檜造り。



楼門 (国指定重要文化財)

室町時代・永正6年(1509年)建立。  
三間一戸・入母屋造・本瓦葺き。建立以来たびたびの修理を受け、桃山時代の様式を残す。(高欄付きの縁をめぐらせた通路や和様三手先腰組)欄間には、牡丹と蓮の彫刻があざやか。金剛力士像を安置。



鐘楼 (国指定重要文化財)

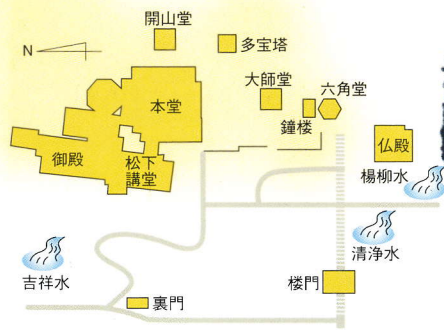
安土桃山時代・天正16年(1588年)建立。  
入母屋造・本瓦葺き・袴腰(腰板張りの下層)全体に軽快な感じで、鐘楼建造物中の白眉とされている建物である。



多宝塔 (国指定重要文化財)

室町時代・文安6年(1449年)建立。  
嘉吉元年(1441年)倒壊した塔に替わって再建された、本瓦葺三間多宝塔。  
下層は四本柱の方形、上層は十二本の柱を立て高欄をめぐらせた円形。  
室町中期様式・五智如来をまつる。

### 境内MAP



### 観音様ご体内 写経奉納のご案内

万人の感謝と、想いの成就を込めて大観音様のご体内に皆様が書写された写経を奉納することができます。

#### [奉納料]

- 般若心経 1巻 2,000円
- 十句観音経 1巻 1,000円
- 観音経偈 1巻 3,000円

※お写経は、当寺写経場でもなされています。  
AM8:30~PM4:30

### 新仏殿 納骨壇のご案内



皆様方のご先祖様に、観音様のおそばで大慈悲に包まれた安らかな時をお過ごしいただけるよう、納骨壇をご用意いたしました。  
宗派を問わず御納骨いただけます。  
詳しくは仏殿寺務所にてお問合せください。御仏縁をお待ち申し上げております。

# 総漆金箔寄木立像 日本最大の観音様 慈悲の御光に包まれて



### 新仏殿と大千手十一面観世音菩薩様

紀三井寺では新仏殿のご本尊様として木造の立像仏としては日本最大となる総漆金箔張大千手十二面観音菩薩様が入佛されました。  
京都西山に工房を構える現代わが国随一の天仏師松本明慶師の作となるこの大きな観音様は、平成二十年五月落慶法要が営われました。